

## 単元名 表現運動(表現)

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり踊りで交流したりすることができる。
- (2) 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりしようとする。

## 標準的な展開例

06100201\_001

【準備等】 軽快な曲（ロック・サンバなど）、動きや踊りのイメージに合った曲（効果音）、模造紙、太ペン、カセットCDプレーヤーなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 表現の学習の課題と内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の課題や進め方を知る。</li> <li>★イメージしたことを、表したい感じが強まるように工夫して踊ろう。</li> <li>○学習カードの使い方を知る。</li> <li>○体ほぐしの運動をする。</li> <li>○「激しく〇〇する」、「急に〇〇する」を題材に、教師の言葉掛けやリードで即興的に踊り、課題をつかむ。</li> </ul> <p>2～3 「激しく〇〇する」、「急に〇〇する」を題材に、思いつく題材を、簡単なひとまとまりの動きにして踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リズムにのって体ほぐしの運動をする。</li> <li>○「大変だ！〇〇」を題材に、〇〇の部分でグループで相談して出し合い、イメージバスケットを作る。</li> <li>○出されたテーマの中から、踊ってみたいものを選び、いろいろなイメージを思いつくまま踊る。</li> <li>○気に入った動きを繰り返し、ひと流れの動きにする。</li> <li>○ペアグループで見せ合い、アドバイスをする。</li> <li>○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったこと、友達のよい動きなど</li> </ul> </li> </ul> <p>4～6 「私たちの地球」を題材にテーマを選び、グループで表したい感じが強まるように工夫して踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「私たちの地球」を題材に、イメージバスケットを作りイメージ別にグループを作る。</li> <li>○グループで表したいイメージや課題の確認をする。</li> <li>○一番表したいところがよくわかるように、動きを工夫して踊る。</li> <li>○グループで互いに見せ合ってアドバイスをし合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始めは、「激しく〇〇する」、「急に〇〇する」を題材に即興的に踊り、その後「私たちの地球」を題材にイメージを広げ作品をつくることを知らせる。</li> <li>・軽快なリズムの音楽に合わせて思いっきり踊らせる。</li> <li>・リズムに乗り、友達と関わりながら、自由に踊らせることで心と体を解放させる。</li> <li>・満員電車、火山の爆発、フライパンではじけるポップコーン、コンピュータが壊れたなどを取り上げいろいろな動きを体験させる。</li> <li>・一つの題材について、差のある動きを三つくらい取り上げるようにする。</li> <li>・一つ一つ区切らず、流れが途切れないようにする。</li> <li>・教師の言葉掛けやリードにより、即興的に踊ることができるようにする。</li> <li>・「激しく〇〇する」、「急に〇〇する」を題材にするが、児童が考えやすいように「大変だ！〇〇」の〇〇の部分を考えさせる。</li> <li>・グループは毎回変え、気軽に誰とでも交流できるようにする。</li> <li>＜テーマの例＞ 大変だ！嵐が来た、雷が落ちた、コンピュータが壊れた</li> <li>・始めと終わりのポーズを決め、その間に中心となる動きを繰り返して入れて、ひと流れの動きをつくらせる。</li> <li>・2グループでペアグループを作り、互いに見せ合って、相手グループのよい動きや改善するとよい点などについてアドバイスさせる。</li> <li>・イメージバスケットの中からやってみたいイメージを選ばせる。</li> <li>・同じイメージにたくさん集中した場合はその中でグループを分ける。</li> <li>・学習カードに記入させる。</li> <li>・「始め—中—終わり」の3場面でつくらせる</li> <li>・起伏のある作品にするためにどこを盛り上げるか決め、他の場面は違う感じの動き（静と動、緩と急のように）で構成させる。</li> <li>・ラストシーンを印象的にさせる。</li> <li>【評】イメージを強調できるように工夫しながら踊る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・動きのよかった児童やグループを紹介し、よい動きを共有できるようにする。</li> <li>・動きのポイント（メリハリ・誇張・くずし）を押さえる。</li> </ul>

<p>○踊り込む。</p> <p>○反省し、まとめをする。 ・動きの工夫、次時の課題の把握など</p> <p>7 発表をする。 ○発表をする。 ○グループごとに作品を踊り込む。 ○発表をする。</p> <p>○友達の良いところを見つけ、カードに感想を書く。</p> <p>○単元のまとめをする。</p>	<p>・ジャンプ、転がる、ひねる、そる、回るなどの動きを大きく見せるポイントを押さえる。 ・表したい感じやイメージを強調させ、ひと流れの動きで表現させる。 【評】友達と踊り込む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・踊りに合わせて、イメージに合った曲をかける。 【評】発表を通して、「知識・技能」を評価する。 ・後で友達に渡すようにする。 友達の動きのよさを見つけさせる。 ・感想の発表や学習カードによる自己評価などをさせる。</p>
---	--

### 【 備 考 】

表現運動は、自己の心身を解放し、表したいイメージを膨らませ、踊る楽しさを味わうことができるとともに、互いの違いやよさを生かし合い、仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。表現する題材は、個人やグループによって広い範囲から選べるようにし、表したい感じやイメージを強調するように、変化を付けたひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで「始め—中—終わり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにしたりして表現することができるようにする。本単元では、「激しい感じ」や「急変する感じ」の題材を取り上げ、教師の言葉がけやリードで即興的に踊る学習を行い、いろいろな動きを体験させる。次に、それらをひとまとまりの動きにして踊る学習と、「多様な題材」として「私たちの地球」をテーマに、社会や生活の様々な印象的な出来事の中からグループで表したい感じが強まるように工夫して踊る学習を設定した。

<運動が苦手な児童への配慮の例>

- ・題材の特徴を捉えることが苦手な児童には、二人から四人組などで、題材の特徴的な様子や動きを出し合いながら踊らせるなどの配慮をする。
- ・ひと流れの動きにすることが苦手な児童には、表したい感じやイメージから捉えた変化とメリハリ（緩急・強弱）のある動きを、教師や仲間のリードで幾つか一緒に踊らせるなどの配慮をする。
- ・簡単なひとまとまりの動きにすることが難しい児童には、一番表したい感じやイメージを明確にするとともに、できたところまでを通して踊ってみながら、表したい感じにふさわしい「始め—中—終わり」の構成になっているか教師や他のグループに見てもらうようにさせるなどの配慮をする。